



No.74

2026年5月

発行

NPO囲む会ヘリオフレンド
高槻市安岡寺町1-20-3

☎ 072-687-6680

FAX 072-687-6695

HP <http://herio.s223.xrea.com/>

新年交流会を開催しました

年が明けて1月18日(日)、ヘリオフレンド3階の花ホールにて恒例の〈新年交流会〉を開催しました。今年は6年ぶりにお弁当を準備して、みなさんでおしゃべりしていただく会食時間を設けました。また、プログラムも例年とは少し変更し、

- ヘルパー田家さんの紙芝居ボランティア『昭和堂』による紙芝居
- 寄ってこサークル〈ラテンダンス〉メンバーによるダンス披露
- ラテンダンス講師の山田さんによる「高槻市もてきん体操」の指導で、全員で体操！

- 啓友会職員さんによる催し『さわってさわって何でしょう』

- 参加者全員での『じゃんけん大会』

などの催しで、楽しんでいただきました。

事務局の林有子さんからの感想をいただきました。



コロナ禍以降久しぶりの会食ありでした。BGMが流れる中、ゆっくりいただく事が出来ました。その後は、昭和堂さん(田家さん)の紙芝居『美空ひばり物語』に感動しました。寄ってこのラテンダンス発表はとても素晴らしく感心しました。もてきん体操で私達も体を動かして、じゃんけん大会では景品をもらうなど、初めての試みも多く、とても盛り上がりました。日頃接点のない方々と交流することが出来て、とてもいい時間となりました。啓子先生のご挨拶にもありましたが「まだまだ囲む会ヘリオフレンドは大丈夫！」そう思えたひとときでした。良い一年の始まりになったと思います。



2026年度 通常総会のご案内

6月14日(日) 14時から

総会後に弁護士の古本剛之さんによる
「エンディングノートの書き方」の講座を
開催いたします

理事長あいさつ

理事長 赤塚 章子

「天馬空に行く！という気概を持ってスタートした年の初め・・・」。午年（うまどし）に成人式を迎えた私が、ある式典で所感を述べた時の言葉の一節です。以来、午年を迎える度に若かりし頃を思い、自分を励ます言葉になっております。

日頃は、会員の皆様のご協力のおかげで、囲む会ヘリオフレンドの各部会の活動が健全かつ順調に行われていますこと、心から有難いことと思っています。

新年一月には、久しぶりに昼食を共にした新年交流会を開催致しました。とても和やかで有意義な時間を過ごすことができ、今後の囲む会ヘリオフレンドの順調な活動を見る思いでした。

早や季節は春、各地で入園入学の嬉しいニュースに思わず笑顔！しかし新聞やテレビで世間の報道を見るにつけ憂いを感じずにはいられない昨今ですが、囲む会ヘリオフレンドの地域に寄り添った活動は止まることなく、日々少しずつ前進して行かなければと願っています。天馬空に行く！の如く各部会の皆様が、元気に活動していただきますようよろしくお願いします。



安岡寺子ども会のハロウィン



ヘリオフレンド事務所がある地域の安岡寺子ども会ハロウィンイベントに、今年も参加しました。昨年に続き2度目の参加です。

玄関前にハロウィンのかぼちゃを飾りつけ、シャボン玉のシャワーでお迎えしました。魔法使い、スパイダーマンやSWAT隊員、かわいいかぼちゃさんなどなど。思い思いの扮装のお子さんたちに来ていただいて、お菓子を手渡す私たちも笑顔に。お世話される地域の方々や一緒に来られた保護者の方々の笑顔もいただいて、うれしく楽しいイベントでした。



〈編集後記〉 五月晴れの空を「鯉のぼり」がたなびくこの頃です。しかしながら、「ひな祭り」と同じく、その風習を見ることが少なくなっています。

それは、日本の子どもの数が、昭和の時代の出生数年間約200万人に比べ、昨年は約69万人となり、急減しているからだと思います。したがって、日本の人口は、40年後には、約9400万人（昨年比2800万人減少）と予測されています。

私たちは、その予測一家族の減少・地域人口の減少をみすえて、さまざまな課題を整理しながら、みんなで不安なく毎日を過ごせるように、相互で支え合う「囲む会ヘリオフレンド」の役割を大切にしましょう。（H・N）

◎前号にてフレンダー山田由紀子様のお名前が山田幸子様と記載されておりました。訂正しお詫び申し上げます。

◎ウィズユー59号から本誌タイトルの挿絵を担当してくださった山本嘉一郎さんがお休みされておりましたが、74号からまた担当していただくことになりました。皆様お楽しみに♪